

稲門フィラテリー

第81号

2021年9月1日発行

<http://www.talcen.com/tofila.html>

稲門フィラテリー 20 周年記念切手展

ーいよいよあと2か月、準備は順調ですー

コロナの影響により昨年実施予定だった「稲門フィラテリー 20 周年記念切手展」は大学校友会事務局からの活動自粛要請を受けて本年（令和3年）11月12日（金）～14日（日）開催へ延期となりました。

また、7月に入り東京都には緊急事態宣言が発出されるなど、首都圏ではコロナ変異株が急増する中、東京2020オリンピック大会が無事に終了し、8月24日開催のパラリンピックやアジア国際切手展（PHILANIPPON2021）も実施の運びになるものと期待をしています。（8月22日時点）

切手展実行委員会では青柳会長と連携して11月に向けて着々と準備を進めております。未だ未確定要因は残りますが、現時点までに固まった切手展内容をご報告いたします。都内近県にお住いの会員だけでなく、全国各地にお住いの会員の皆様も是非切手展観覧のご予定をお立てください。既にワクチン接種を済まされた方も多いかと思ひます、ご友人に宣伝いただくと共に、久しぶりにお子様やお孫さんのお顔を見に来られた序に目白へ足をお向けください。ご来場をお待ちしております。（荒木寛隆）

1. 開催概要

①日時 令和3年11月12日（金）～14日（日）

10:30～17:00（三日間とも）、

但し、記念小型印押印は

11月13日（土）限定

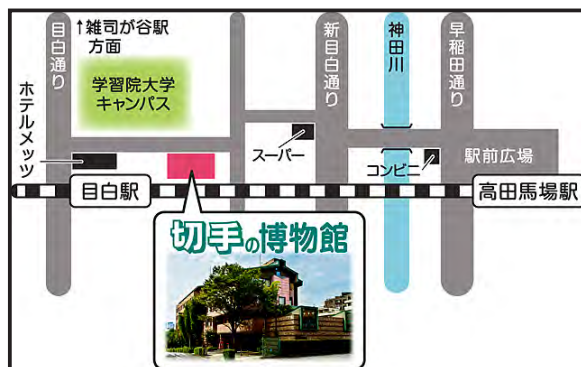
②場所 切手の博物館 3階展示室

（アクセス：右図）

JR山手線 目白駅から徒歩3分

JR山手線、地下鉄東西線並びに西武新

宿線 高田馬場駅から徒歩7分

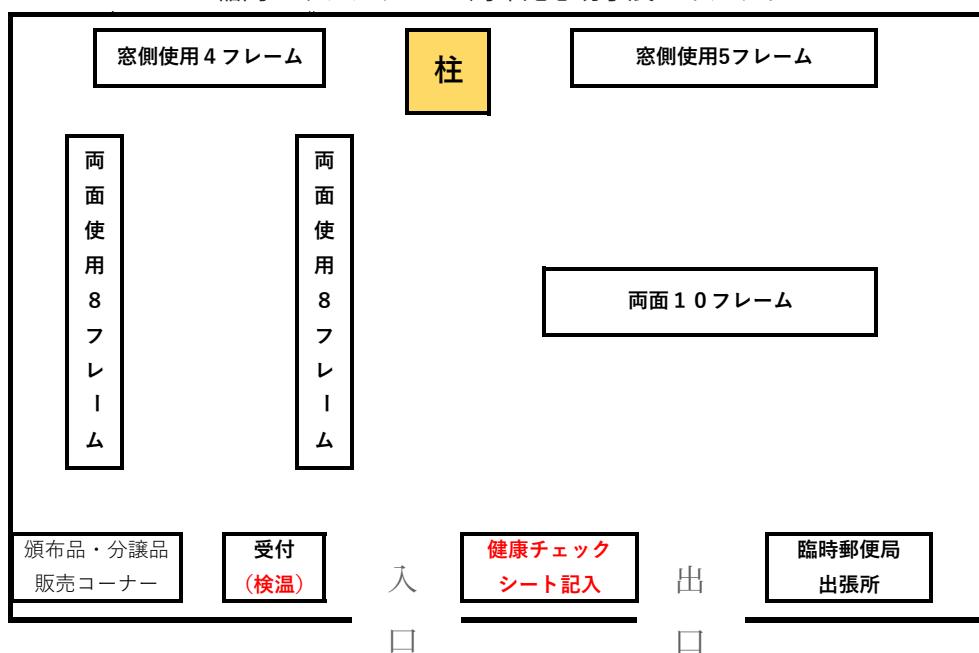


③会員展示作品 14 件 35 フレーム (予定)

出品作品一覧 及び 展示レイアウト

	氏 名	フレーム	出品名／概要
1	稲門フィラ紹介	1	稲門フィラテリー 20 年の歩み (仮題)
2	西村寿一郎	3	香港
3	小林 彰	4	横浜外国人居留地発着郵便
4	小川義博	2	後期高齢者の切手収集
5	伊藤 和紘	2	マイコレクションから
6	井上武志	1	みちのく仙台の郵便
7	山田 厚二	2	ドイツ普通切手のゲルマニアシリーズ 1900 ～ 1922 年
8	稲葉良一	3	満州における日本の郵便活動
9	鎌倉 達敏	3	明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩
10	和田 文明	4	航空郵趣 (Aero Philately)
11	榎沢 祐一	3	スロベニアのチェーンブレイカー
12	荒木 寛隆	2	リトアニアのクリスマス郵便 1994 ～ 2020 年
13	池澤 克哉	4	早稲田大学 125 年の歩み (5 フレームから抜粋)
14	青柳 次男	1	西独寄付金付き切手 1960 ～ 1972 年
	合 計	35	

2021 稲門フィラテリー 20 周年記念切手展レイアウト



④記念小型印及び記念カバー見本



稲門フィラテリー 20 周年記念記手展
令和 3 年 (2021 年) 11 月 12 ～ 14 日
切手博物館



稲門フィラテリー 20 周年記念記手展
令和 3 年 (2021 年) 11 月 12 ～ 14 日
切手博物館

- (注) 1. カバーカシェ図案はサンプル (参考例) です。カバーは洋 1 形封筒です。
2. 小型印は原案です。実際の小型印のインクは「鶯色」になります。
3. 会員には各 1 部づつ配布することを検討しています。

開港当時の在日欧州系商館発着書簡 (3)

小林 彰

シイベル・ブレンワルド商会 Siber & Brennwald

(会社概要) 前掲「横浜居留地の諸相」にある中西道子さんの論考「スイス特派使節団の来浜と商館の創業」によれば 1863 年 4 月 28 日、日瑞修好通商条約締結のため横浜にスイス使節団 6 名が上陸した。その中にブレンワルド Here Casper Brennwald がいた。彼は条約締結 4 カ月後、米国経由帰国したが、日本ででの起業の決意を固めていた。1864 年、日本で収集した商品の見本市をチューリッヒで開き成功を収め、将来への貴重な手掛かりを得た。ヘルマン・シイベル Hermann Siber との出会いにより、1865 年にシイベル・ブレンワルド商会を設立した。創業者、ブレンワルドとシイベルの肖像写真を、日本シイベルヘグナー (株) 創立 125 周年に当たる 1989/1990 年次報告書 (英文) から同社の承諾を得て [図-13] に転載させていただく。1867 年版舗行名簿に初めて同商会が掲載された。所在地は居留地 53 番。翌 68 年版名簿では居留地 90 番に移転している。1870 年にウォルフ Arnold Wolff が入社した。ブレンワルドは 1878 年に離日、ロンドン支店に勤務した後スイスに戻った。1899 年から 1906 年まで社名はシイベル・ウォルフ商会 Siber, Wolff & Co. となり、ウォルフの帰国後、1911 年版名簿からシイベル・ヘグナー商会と社名変更された。これはシイベル家と縁戚のヘグナー家との同族会社となったためである。第二次世界大戦中、中立国スイス系は日本で営業を続けていた。戦後は日本の経済高度成長の波に乗り隆盛を極め、独立法人・日本シイベルヘグナー (株) として高付加価値、

先端技術の提供を主体にいっそう発展しつつ現在に至っている。なお、1988 年、開港当時の所在地・横浜居留地 90 番に隣接する現・山下町 89-1 番にシイベルヘグナービルが落成した。

書簡 25 (差立便) シイベル・ブレンワルド商会差立 (宛先不明) 月例報告書

1869 年 6 月 11 日 シイベル。ブレンワルド商会差立→仏横浜局→宛先不明 (書簡文面・英語部分) 仏帝国郵船デュプレックス号はマルセイユから郵便物を搭載して今月 4 日入港。英国郵船 P&O サンダ号はロンドンからの 4 月 23 日の郵便物を船済し、またガル Galles にて先月 15 日付電報を受け取った後、昨夜入港した [註：ガルはセイロン島の欧亜航路の重要寄港地。また、当時ロンドンから発信された電報はガルで受信]。輸入業務は完全に行き詰まり状態。取引はここ 2 週間ひじょうに限定的。大部分の商品価格はいたって正常。米価は入荷増で 1 俵当たり 10 から 15 セント値下げ。あらゆる商品の入荷は増加傾向にある。茶の市場は平穏で、卸売商は顧客の希望を上回る価格を要求している。

新茶は良質で支障なく入荷している。生糸については、卸売商から顧客に市場で流通している繻が持ち込まれているに過ぎない。収穫期は終わりに近づき次の収穫期まで多量の生糸入荷は期待できない。外貨相場は下降傾向。分は安値。輸入：この 2 週間、需要全体の落ち込みで空前の不況で出荷は大幅に減少した。ただし綿製品・紡績糸は強含みで堅調だったに拘わらず、卸売商は安値を要求。

価格変動は名目上ないが、有名無実状況である。羊毛には多少変化が見られる。サイゴンと香港から多量の米が輸入され、無理な需要喚起が価格下落を招く結果となった。輸出：絹 - 新収穫期前の在庫一掃気分に影響され、卸売商は安易な条件を受け入れている。また、市場から引き上げる者もいる。大部分の在庫は奥州産であるが、今なお堅調に維持されている。250 梱が出荷され、在庫は 300 梱に減少。好天に恵まれ、今月末までに僅かながら新収穫期の生糸が出荷開始できる見込み。出荷済み総 120 梱 (参考比較) 現在までの出荷実績 14,865 梱。奥州産 80 1867-68: 12,100 その他 50 1866-67 13,400 合計 250 梱 1865-66 11,400 1864-65 16,300, 1863-64 15,700、1862-63 25,700。英国郵船 P&O アデン号に本日正午まで 146 梱予約。仏国郵船デュプレックス号で先月 8 日 47 梱を出荷済み。

書簡 26 (差立便) シイベル・ブレンワルド商会差立ヒュース商会 Huth & Co. 宛

1869 年 8 月 30 日シイベル・ブレンワルド商会差立→8 月 31 日仏横浜局→10 月 25 日ロンドン局→10 月 26 日ヒュース商会着 (書簡文面・英語要旨) 1869 年 7 月 2 日付貴簡に対し、弊社から在ミラノのグリヤー氏口座宛 6 カ月ユーザンス付額面 800 ポンド手形を振り出したこと確認する。7 月 8 日付貴簡数通ありがたく拝誦。生糸の重量不足は船会社の誤りの由。生糸の重量過不足は重大問題。本状にて 8 月 30 日御社宛に 4 カ月ユーザンス付 250 ポンドおよび 750 ポンドの手形を振り出した。この両手形を 1869 年 7 月 8 日付御社信用状と差し替えて、ミラノのシェンヌ氏口座に寄託乞う。絹：8 月 4 日付ロンドン発、米国経由の電報拝受している。この電報にて前橋産生糸が最良と連絡を受け、29 ポンドで買付オファーされたが、こ

れが当市場に与える影響は軽微であろう。現在、生糸は価格変動なく自由に買い付けられる。ただし、蚕種の品不足が経営に影響を及ぼすことは疑いない。

清国の輸出量減少は当地での豊作に起因する。日本人は絹について 1 万 9 千梱の出荷と見積もっているが、その内 1 万梱は総によると推定する。しかし、現在の為替レートでは大きな利益は期待出来ない。蚕種 2 万梱は欧州人の手にあり、残りの 5 万梱以下が現実に日本人に前払いで売買されている。市場の在庫は 23 万梱で、23 日以降の販売は 250 梱。今日までの累計 2 千 2 百梱。

書簡 27 (差立便) シイベル・ブレンワルド商会差立レオン・ドゥラポルト Léon Delaporte 宛

1869 年 10 月 2 日 シイベル・ブレンワルド差立→10 月 3 日 仏横浜局→11 月 21 日パリ局→ドゥラポルト着 (書簡文面・仏語全文) 9 月 4 日付貴簡拝誦いたしました。本日はクラリス号の入港以外、貴殿にご連絡することはありません。御社からのシャンパンは未だ荷下ろしされておりませんが、弊社倉庫に入庫次第販売開始する所存です。こちらの市場は残念ながら相変わらずで、武器は売れません。石炭は殆どの船が持ち込むので、市場は既に飽和状態で販売は日一日と難しくなっています。貴殿のシンガポールの友人が貴殿の注文を処理していなければ、と期待しています。幸いなことに現在までのところ、そのような話は聞いておりません。綿糸は当市場でもっとも売れ筋の商品で、消費は増々増加しており、売り捌けることは確実です。現在、分が低調で需要の動きは活発ではありませんが、価格は維持されています。ロンドン為替相場は上向きで、6 カ月先物で 4s 61/4 d となっています。

コミ商会 Vincent Comi

(会社概要) 絹取引を主体としたイタリア系商社で、1867-68年の生糸輸出は約870梱。在日商社では第4位だった。コミ商会は舗行名簿1869年版で初めて紹介された。所在地は横浜居留地10番。コミの他にルイ・ヴァルニ René Valny の名が見える。71年版名簿ではさらに1名入社して3名。しかし75年名簿にはコミ商会は掲載されていない。

書簡28(差立便) コミ商会差立ゲラン父子商会 V. Guérin & fils 宛 [図-14]

1868年5月13日 コミ商会差立→仏横浜局→7月6日リヨン局→ゲラン父子商会着

(書簡文面・仏語部分) [前後の頁欠落]・・・これら日本人がそれを必要としているし、また神も望んでいるように、たいへん有利な条件で成功を収めました。蚕種については、大方の欧州系貿易商は彼らの必要量を確保するための方策を練っており、また多くの日本人も同様に欧州系商社と一緒にあって、そのようにする積りです。フランスとイタリア向けにすべての必要量を確実に供給しなければならないと思っています。しかしながら、奥

州地方では政治的な騒乱があり、また北部の別の藩の動きもあります [註：戊辰戦争のこと]。これら不穏な動きは、北部の養蚕指導者や生産者を心配させています。不安が現実となる場合、他の地方よりも高品質の奥州産蚕種の買付を断念せざるを得ない事態となりましょう。良質蚕種の年間販売は好調なのでしょう。友人から商品販売委託を受けられますので、ご一報いただければ幸いです。[以下欠落]。

ルブール商会 Ph. Reboul

(会社概要) フランス系と思われるが、本商会の詳細不明。当該書簡発信年代前後の舗行名簿に記載なく、また諸文献でも、この名前は見当たらない。

書簡29(差立便) ルブール商会差立デュラン兄弟商会 Durand Frères 宛

1869年9月18日 ルブール商会差立→仏横浜局→10月25日 フラヴィアック局→10月26日 デュラン兄弟商会着

(書簡文面・仏語全文) 9月18日現在の状況をご報告いたします。 昨年68万4千梱再入荷しましたが、その内15万梱は追加分で



[図-14] 1868年5月13日 在横浜、コミ商会差立

7月6日 在リヨン、ゲラン父子商会着 折畳式

す。一昨年同時期は 170 万梱でした。年次報告書作成に 1 週間掛かりました。適用価格は 17-20 でしたが、今日では 22-23 になっています [註：原文では通貨単位を省いているが、後続文ではフランと記している]。従って、等級 1 については従前価格の 22-23 が現時点では 25-28 に値上がりしています。数梱に支払う現行価格は 15-16 ですが、昨年はこの価格で 200 梱も販売出来なかったと記憶しています。このような状況下では、弊社の基礎固めをしたいという望みはまったく失われてしまいました。フランス人の多くは興味を示さず、何が起ころうとも、皆、このような状況に失望しています。デュランさんからの最善のものだけを選択するというお勧めに従いたいと思います。今月 3 日から 10 日までの間に、マルセイユに行って、23, 24 フランもする極上品を 4 千梱仕入れました。本日も同様の品がありましたが、価格が 24 から 28 でないため調達出来ませんでした。従って、ご報告すべき事項は以上の通りです。弊方の回答というより考えでは、目指す商品の 4 分の 1 でも誰も持って行くとは致しません。弊社はどのような状況に置

かれているのでしょうか。まだ何か仕入れる商品があるかどうか検討いたしますので、10 月 31 日まで待つことにいたします。しかし・・・(以下、頁欠落)。

ギヨームテル商会 Guillaume Tell [図 -15]
(会社概要) フランス・アヴィニョンに本社のある絹、酒類、その他雑貨品を扱う貿易商社。ただし、来日したのは誰かなどその他詳細は不明。Guillaume とは英語では William。William Tell ウイリアム・テルで思いつくのは伝説上の人物。14 世紀頃スイスに住んでいて。オーストリアの悪代官によって、わが子の頭上のリンゴを弓で射ることを命じられた。この故事に因んで命名したのかも知れない。Guillaume (あるいは William) Tell を鋪行名簿で探したが見つけれなかった。また、書簡にはギヨーム・テル商会の名で署名していて、実名は分からない。因みにこの時代、同社に限らず、例外なく社名で署名している。書簡の文面は長いが、当時の雑貨や食品取引の生々しい状況が詳述されているので、全文を紹介する。



[図 -15] 1871 年 8 月 21 日 在横浜、ギヨームテル商会差立

10 月 13 日 在アヴィニョン、アルファンデリ商会着 折置式

書簡 30 (差立便)

1871 年 8 月 21 日ギヨーム・テル商会差立→仏横浜局→10 月 13 日 アヴィニョン局→アルファンデリ Alp h andéry 商会着 (書簡文面・仏語全文) 当月 16 日の英国郵船にて通送された雨傘、ブーツ並びに掛布団を受領いたしました。雨傘は容易に販売できるものと期待しています。因みに既に 1 本 4 ピアストルで 4 本売却済みです。掛布団はまだ売り出していませんが、余り心配してはおりません。いずれ売却もしくは段ボール箱と有利に交換できと思っています。唯、お含み願いたいのは、これらは最も欲しい商品ではないということです。ブーツは開梱さえしていない状態です。というのは従来の入荷品が半分以上も残っているからです。ただし、売れるからと発注した段ボール箱のように、日本人は一度現金を持つとその時は購入します。当地は危機に瀕しておりますが、並の程度であれば良いと思っています。靴を除き、どの商品も在庫が底をついていませんが、少量でも捌ければ良いと考えています。ワックス、ワイシャツ、他のシャツ、フラノ製チョッキが売れ筋です。シャンパン 16 ケース、ヴェルモット数ケース、各種リキュールは在庫があります。販売に苦言を呈する理由はありません。しかし、フォンテイン氏には多くを申し上げねばなりません。弊社の経験不足のせいかも知れませんが、ソーセージは傷んで悪臭を放っており、販売出来る状態ではありません。また、ハムには蛆が湧いています。3 週間程前に傷んだハムが返品されました。蠅が集った、いわば事故だと信じ込ませておりますが、時期を同じくして同じ状態の別の 2 本、そして 4 本目がまた突っ返されました。ここに至り、手持ちの 6 本も同じように傷んで蛆が湧いていることが確かめられました。船で輸送中の暑さが原因か、あるいは不

完全な包装が原因か、あるいは他の原因か、確かなことは分かりません。しかし、弊社では傷んだハムを 10 本も持っていたと言うことです。この事実は文書で、また返品してきた得意先によって確認させていただきます。従って、弊社はフォンテイン氏の請求書に関して多大な損害を被ることになります。なお、ソーセージの在庫の一部は市場に出荷しましたが、まだ 200 キロの在庫を抱えています。仲買人が 14 ピアストルで指値して来ましたが、結局この値段では引き取りません。フォンテイン氏は言い逃れを盾にすることは出来ません。ソーセージは私が到着した日から悪臭を放し傷んでいます。彼の友人がポルトンス氏に、このソーセージをかなり大量に購入いただきましたが、同氏は悪臭が酷く、脂身が余りにも多いので、手元に置くことを嫌がっていました。私は精神的にひじょうに困難な状況に置かれ、貴殿と同じように、この事実を残念に思っています。いずれにしても、私は段ボール箱が大いに寄与し、その成功を信じておりますし、実際に成功すると思います。弊社の信用状に係る御社からの電報は送信途次にあると思います。ただし、電報が香港に着信したと仮定し、待機中の香港発横浜行の船舶を見つけて、そのことを知らせる電報が弊社に届くまで 1 週間はかかります。繭や生糸など絹関係では多くの取引が行われています。いずれにせよ弊社は御社からの注文を鶴首してお待ちします。貴殿の方から約束されたのに、気晴らしになる新聞の送付をお忘れでした。29 日に再度、手紙を送送する積りです。皆さまに宜しくご鳳声下さい。[追伸] 先の書簡にて、この時期の奥州産生糸のマルセイユ渡しの価格をキロ 70 フランとお知らせしましたが、この価格には費用一切含まれています。先便ではこの点が明確ではなかったと思いますので付記いたします。

ジャクモ商会 J.M.Jacquemot [図 -16]

(会社概要) スイス人ジャクモは開港直後、まだスイスと日本とで通商条約が締結されていなかった時代に英国人として来日したと思われる。当時、ジャクモは在日英国人の中で最高齢 45 歳であった。1864 年版鋪行名簿では、貿易商としてジャクモ一人が掲載されている。ところが 67 年から 69 年版ではジャクモの名前は見られず、70 年版で居留地 82 番に他の 1 名と共に再掲載された。73 年版では J.M. と R.C. ジャクモの名前があり、先の 1 名と共に 3 名が掲載されている。両ジャクモの関係は不明だが、この年、J.M. ジャクモは 60 歳に手の届く年齢であり、親子の可能性が考えられる。74 年版では両ジャクモだけとなった。75 年版ではチューリッヒのスイス海上保険会社の代理店にもなった。78 年版以降、名簿でジャクモの名前を見つけることは出来ない。

書簡 31 (差立便)

1875 年 6 月 1 日ジャクモ商会差立→仏横浜局→7 月 22 日 リヨン局→シャルトロン父子・モニエ商会 Chartron Père Fils & Monnier 着
(書簡文面・仏語全文) 先の 5 月 25 日付弊

簡は 4 月 16 日付貴簡と行き違いになってしまいました。御社の 2 万フランの新信用状を引き取りました。少なくとも金利が有利な時に、必ず利用いたします。弊社は既に銀行に対して御社の同意があれば、御社に書類を返却すると話しました。最初の取引の時、弊社に提出されたものです。なお、この点については別途お話しいたします。御社から山中産 [註：原文では Yamanaka と読めるが、山梨かも知れない] 良質生糸についても、まだ売れていないと連絡いただけなかったように思われ残念至極。しかし弊社では御社のご判断を信頼し、御社の販売方法での結果を辛抱強く待つことにいたします。相変わらず適当な商品がなく、取引は枷を嵌められているように、極端に落ち込んだ状況です。しかしながら卸売商は必ず商談をまとめる気でいます。それは品不足の商品ということです。「掛け売り」、もしくは「掛け売りと言われる条件」で日常品を単価 510 ドル、あるいは 505 ドルで取引していました。生糸の総関係では普通品が 420 から 430 ドルで取引されています。しかしながら上質の等級 2 でも支払いの上限は 445 ドルまでのようでした。日常品関係は商品とのめぐり合わせにもよりますが、370 から 400 ドル程度と思われ、使い



[図 -16] 在横浜、ジャクモ商会差立書簡 折畳式

ものにならないほどの品質ではないものもあります。当地より収穫の早い支部とは反対に、当地では収穫はむしろおくれ気味です。新たに生産された生糸を今月末あるいは7月初めまでに手当することは不可能です。当初は程々の価格であることを期待しています。卸売商もまた控え目な価格を維持することを望んでいるに違いありません。

ボルミダ商会 G.Bolmida

(会社概要) イタリア系ボルミダ G.Bolmida の名前は 1869 年版舗行名簿の横浜居留地 28 番エモナン商会 Aymonin & Co. に掲載されている。しかし 71 年版ではボルミダの名前はなく、72 年版にエモナン商会とは別に居留地 154B に貿易商ボルミダが記載された。75 年版では移転して居留地 202 番に所在。77 年、78 年版では本人は不在と注記され、他の 2 名が店を護っていたようだ。79 年版では、ボルミダ 1 名のみとな

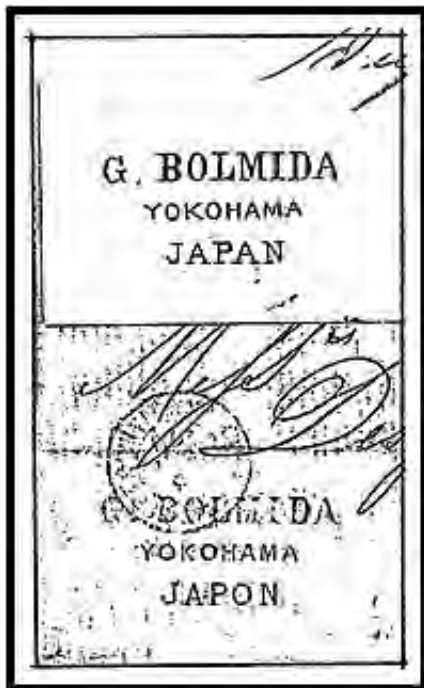


図-17] ボルミダ商会 英・仏語 社印

り、81 年版ではもはやボルミダの名前を見つけることはできない。ボルミダについては松本純一著「横浜にあったフランスの郵便局」(原書房 1994 年) に詳述されている。同氏は、その後の調査研究の結果、1999 年にボルミダの独立は 70 年 4 月以前であると発表された。同時にボルミダ差立て書簡に押印されている商館印には従来から知られている G.BOLMIDA/YOKOHAMA/JAPAN の他、JAPON 表記印があることを発表された。JAPON 印押印カバーは現在の処 2 通が知られている。内 1 通は筆者のコレクションに収められている。参考に両印を [図-17] に示す。

書簡 32 (差立便)

1875 年 10 月 11 日ボルミダ商会差立→仏横浜局→11 月 25 日リヨン局→宛先(抹消されているため不明)

(書簡文面・仏語全文) 生糸に海上保険を付保いただくようお願いいたします。同時期に出航するフランス郵船・・・[註：損傷している折り目の文字判読出来ず]・・・なので、米国郵船が商品到着前に引受払手形を持参する予定です。弊方は金利を節約するため次の英国船を通じ手形を現金化いたします。フランスの為替相場は 5.26 フラン、ロンドンでは 4s13/4d となっています。

[註：2 文字解読できず]。電報代 31 ドルを御社に付け替えさせていただきます。中古段ボール 40 万個は現在入荷中です。卸売商は 2 ドルから 4 ドルと途方もない価格を提示しています。[註：以下は書簡上部余白への添書] 2248.85 ドル。山根産 120/135 生糸総 16 個の価格は 6 232.15 ドル]。

書簡 33 (差立便) [註：差立者、名宛人共不明。欧州郵船の入港以来。報告書内容生糸のため参考に紹介する]

1866 年 8 月 11 日 差立者不明→仏横浜局

→名宛人不明

(書簡文面・仏語全文) 7月10日付弊報告書: 5月26日および6月19日の欧州船入港以来7月5日までの状況報告をガル経由の電報と合わせ受領しています。今までこのように重要な情報を受け取ったことはありませんでした。複数の銀行の凍結、欧州での養蚕大豊作、そしていつ終結するのか見通しのつかない戦争の勃発[註: 1866年6月の普墺7週間戦争と思われる]のことを相次いで知りました。これら出来事はすべて生糸価格の下落につながり、不安を払拭する別の決定的要因がなければ、

生糸価格が当市場で暴落していたことは間違いないと思われます。最近、当地の養蚕が各地で凶作なことが分かりました。今季中に1万2千梱に代えて6-7千梱を輸出予定。現地人は、一般論として、生糸は低品種だと言っています。また最近、絹卸売商は生産者への支払を余儀なくされるので、前金が早晚支払われることを期待して、出来る限り価格の維持に努めています。顧客はそれほど多くはありませんが、彼らの希望価格は下記の通りです。

飯田 等級 1,2,3 @ 12.25-12.30 欠品、2,3,4 \$ 16.30 欠品、3,4,5 \$ 20.40 欠品。

前橋 等級 1,2,3 @ \$ 10.15-10.20 \$ 750-780、2,3,4 \$ 15.20-15.30 \$ 730-750、3,4,5 \$ 20.30 \$ 680-730、

奥州 1,2,3 @ 15.25-15.30 欠品、2,3,4 @ \$ 18.30-18.40、欠品、3,4,5

甲州 1,2,3 @ 10.25-10.30 欠品、2,3,4 @ 18.00-18.40 欠品、3,4,5 @ 25.00 欠品、

仙台 1,2,3 @ 18.30 欠品、

八王子 1,2,3 @ 20.40-20.00 欠品、

増田 1,2,3 @ 20.30-20.35 欠品、

越前 1,2,3 @ 20.30-20.50 欠品。

生糸は定期的に入荷する。商品の品質向上が望まれ、蚕の産卵で良質の繭が大部分使用さ

れている。7月1日以来の取引は当月14日出航の英仏郵船で出荷予定分300梱を含め約600梱に増加している。今日までの輸出量は以下のとおり

ロンドン向245梱、マルセイユ58梱、上海向、香港向、米国向12梱 合計315梱(昨年同期1467梱)、1865-66年 生糸仕入高: 1865年7月1467梱、8月1865梱、9月649梱、10月1093梱、11月955梱、12月1421梱、1866年1月1108梱、2月487梱、3月366梱、4月1051梱、5月614梱、6月587梱 合計11619梱。

(比較) 1865年7-12月11619梱、1864-1865年16523梱、1863-64年15931梱、1862-63年25891梱、1861-62年11915梱、1860-61年11008梱 合計92887梱、シーズン平均15481梱。

[参考] バヴィエ商会 Bavier & Co. [図-18]

(会社概要) 商人の肩書で使節団に参加したバヴィエは絹に関する充分な知識と商売の基礎となる背景、資力を持っていたと思われる。彼は使節団を離れると米一番館、ウォルシュ・ホール商会 Walsh Hall & Co. で2、3年働き、貿易の経験を積んだ

後、157番にバヴィエ商会を設立した。同商会は72年に76番に新築された。バヴィエ商会はフランスに大きな生糸の市場を持っていた。関東大地震で商館は壊滅、バヴィエはスイスに戻り二度と横浜の土を踏まなかった。商館は、ジョルジュ・オドワイエ商会 Georges Audoyer & Co. と社名変更され、代理店契約と顧客を受け継いだ。バヴィエ商会は1925年消滅した。ジョルジュ・

オドワイエは1890年来日した絹の専門家リポール・オドワイエの子息で、父親が5年後に逝去した後、母親と一度フランスに戻り、絹の専門家となった。バヴィエはジョルジュを呼び寄せ、1910年バヴィエ商会に入

社させた。日中戦争勃発、日独伊3国防共協定など急変する国際情勢の中、ジョルジュは後継者に商館を託して帰国した。このジョルジュ・オドワイエは郵趣家で日本発の記念郵便物を多数残している。オドワイエ商会は長年の信頼で戦後も続いたが、1981年に後継者の死去により日本企業に譲渡された。そして1987年、開港当時のスイス使節団の一員として来日したバヴィエを源流とするオドワイエ商会も横浜から姿を消した。

5 まとめ

51. 在日欧州系商館発着書簡合計 33 通を紹介した。これら書簡から分かったことを以下に纏める。本稿で扱った商館は当時の在日商社のほんの一握りに過ぎない。これだけでも役職員の独立、転職、合併、分社、事務所移転、社名変更などが繰り返された。新商館が開業する一方、他方では多くの商館は廃業の憂き目に遭っている。現在まで営業を連綿と続けている商社は3社に過ぎない。日本シーベルヘグナー(株)、(株)イリス と レイボルト(株)である。3社とも創業150年を

迎えている。

52. 扱い品目

輸入： 衣料、綿製品、羊毛、米、リキュール、ワイン、シャンパン、ソーセージ、ハム、段ボール箱、鉄鋼製品、非鉄金属、武器、石炭、雨傘、靴、掛布団、ワックスなど多岐にわたる。

輸出： 蚕種、繭、生糸、生糸屑、茶、陶磁器など。日本からの輸出品目として蚕種はじめ絹関係が多かったのは当時の産業構造から当然と言えよう。

53. 絹・生糸

「横浜開港資料館紀要第17号」掲載、斎藤多喜夫氏の『横浜開港時の貿易事情』によれば、1867-1868年に在日商社が扱った生糸輸出の商館別実績は下記の通り。なお、括弧内数字は実績順位を示す。

ヴァルマーレ・ショウン・ミルソン	1380 俵 (01)
バヴィエ	970 俵 (02)
コミ	868 俵 (04)
ベルナル・エカール・ロー	504 俵 (10)



[図-18] 1872年当時のバヴィエ商会

(佐々木茂市『日本絵入商人録』 横浜開港資料館蔵)

エナモン	425 俵 (12)
シイベル・ブレンワルド	391 俵 (13)
クニフラー	237 俵 (16)
ウォルシュホール	236 俵 (17)
モルフ	93 俵 (27)
トーレル	74 俵 (74)
ボルミダ	6 俵 (43)

54. 海のシルク・ロード

横浜に向けての「日本のシルク・ロード」については一言触れた。「木曾路はすべて山の中である」で始まる島崎藤村の『夜明け前』にも生糸運搬の場面がある。こうして横浜に運ばれた生糸は欧州に向けて船積され、あるときは仏国郵船で、あるときは英国郵船で、海のシルクロード、横浜あるいは神戸から上海、香港、サイゴン、シンガポール、ガル、アデン、スエズ、アレキサンドリアを経て、マルセイユ、ブリンジシ、サザンプトンなどの港で陸揚げされた。郵便物もまた海のシルク・ロードを往来した。本項で紹介した書簡 33 通の内、日欧あるいは欧日間の配達日数を見ると、もっとも早い便で 45 日、遅い便で 71 日、平均 56 日。

55. 取引形態および状況

大部分の商館は弱小であったため、商品委託代行取引が主流を占めていたことが、書簡の文面から読み取れる。また、殆どの書簡で、取引状況に触れているが、一様に順調でないと厳しさを訴えている。商社間の熾烈な競いによる価格の下落、さらに我が国の維新や欧州での戦乱を考えれば、経済の低迷、低調な取引は当然の成行かも知れない。

56. 代金決済方法

在欧州の相手との代金決済は、信用状 (L/C) のほか、同族や本支店、系列会社など信頼おける相手との決済に利用される引受手形

(D/A) あるいは一覧手形 (D/P) 方式も見られたのは意外だった。さらに貿易商なら当然であるが、例外なく為替相場に敏感に反応し細心の注意を払い、少しでも有利な料率を得ようとする姿勢が強く感じられた。

57. 表現と文章力

書簡は必ず自社の先便に確認から始まっている。通信未発達時代の必然的習慣だったのであろう。また、仏語にその例が多いが、差出人が母国語でない言語で認めている書簡が多数見られる。中にはかなり稚拙な表現と綴り違いが散見された。

おわりに

筆者は商社勤務だったので、開港当時の在日外商の活動に興味を持った。従って、横浜フランス局関係カバーなど資料を収集する中で必然的に外商発着の郵便物が増えていった。本稿で紹介した書簡は数通の営業報告書だけがタイプ打ちされているが、他はすべて手書のため、判読はひじょうに難解だった。特に固有名詞には手を焼いた。判読不明な単語・文字も少なくない。誤読の懸念を払拭できない。

書簡内容は商業文で、当時の政治・経済・社会情勢に筆が及んでいる書簡は極めて少なかった。33 通を紹介したが、いたずらに紙数を増やしただけで、それだけの価値があったかどうか。只、当時の在日商人がどのような状況で取引していたか知るだけでも意義はあるかも知れない。

先学諸氏が既に論考されている商館もあり、筆者はこれを参考に、今回対象とした商館について、舗行名簿などで系譜や商館の性格などを探索した。肝心なことが不明の商館も多い。かかる状況ではあるが、開港当時の在日外商の取引実態を少しでも垣間見ていただければ望外の幸せである。 [完]

わが町 戸塚

野島 正顕

コロナ禍による外出自粛が続いているが、巣ごもりばかりでは老化に拍車がかかるだけなので近隣の散歩を心がけている。

たまたま編集幹事から、諸兄の優れた研究成果発表の息抜きに、あの町この町の続きでもとの話があったので、ステイホームの呪縛を解いて、我が町、戸塚の町歩きをしてみます。



2002 年国際文通週間 130 円切手
広重東海道五十三次宿場戸塚
広重 戸塚 元町別道

横浜の戸塚区戸塚町に住み始めて 30 年余り。丘陵地帯で坂が多く港が比較的近いのが、生まれ育った神戸に似ているせいか気に入っている。

散歩をしていても特に景観に優れる所はない。江戸時代に東海道の宿場だったけれど、関東大震災を経て当時を偲ぶ町並みは残っていない。

同じ町に住む娘の話だと、孫たちが小学生だったとき、社会科の野外学習の題材にはこと欠かなかったそう。住む町の歴史を知ることは良いことだ。

JR 東海道本線で横浜と戸塚の間にある清水谷戸トンネルを越えると横浜の戸塚区に入る。この山はかつての武蔵と相模の国境で、分水嶺でもあり武蔵側の川は東京湾に、相模側の川は相模湾に流れる。

ご存じのように戸塚は徳川家康が整備した東海道五拾三次の宿場だった。江戸側の保土ヶ谷宿と京側の藤沢宿が先に開業していたが、保土ヶ谷宿を過ぎると、箱根駅伝 2 区難所の権太坂があり、日本橋を早晩に立った旅人が戸塚の柏尾川大橋あたりまで上がって来ると、待ってましたと袖を引くモグリの旅籠が増えて後追い認可された。大橋の手前に日本橋から十里の一里塚があり、東海道中膝栗毛の弥次喜多も初日に泊まっている。

参勤交代の大名や幕府の要人が利用した澤邊本陣跡には記念碑が立っており、さらにひとつの内田本陣跡は戸塚郵便局になっている。人馬の継立や飛脚継ぎなどの公務を担った問



「澤邊本陣跡」



上方見付跡

屋場。宿場の入口を示す江戸方見附、上方見附、一里塚などの跡に案内が設けられている。江戸方見附と上方見附の間の約 2.2 キロが宿場であった。



広島 元町別道 視点

面白いことに初版に描かれた「こちらを向いて馬から下りる」旅人が再刻版では「背を向ける」に変わっている。

切手は 2002 年国際文通週間の 130 円。2020 年国際文通週間切手帳の 70 円が発行されている。図柄は広重の保永堂初版である。



元町別道 再刻版 背を向ける旅人

戸塚宿は江戸時代の浮世絵に幾つか描かれているが、代表的な広重の五拾三次「戸塚 元町別道」の壁画が JR 戸塚駅地下改札口を出たところで迎えてくれる。鎌倉への分かれ道にある茶屋こめやと橋である。こめやは今は空き地。橋は柏尾川に架かる大橋で現在は大名行列の毛槍の照明燈が並んでいる。中央に見える「左かまくら道」と同様の道標が近くの妙秀寺に保存されている。

この保永堂版は人気を博し再刻されたが、

京方見附跡を後に藤沢方面に向かうと昔は昼でも暗かった大坂が待っている。上ると台地になって戸塚の町並みが眼下に広がり、広重の行書版や隸書版に描かれた街道の松並木や富士山が今も見られる。

行書の初版は、江戸方面に

進む駕籠の人と馬上の人のほかに坂を上がってくる人と坂を下る人が登場するが、再刻版ではこの二人が消えている。保永堂の元町別道と同様に改良か？動画の時間の経過にも見える。

街道の脇に仮名手本忠臣蔵のお軽勘平の戸塚山中道行の場の碑があり、新道側に毎年母校の応援でやきもきする箱根駅伝の戸塚中継所が置かれる。

町なかの街道から階段を登ったところに、



広重戸塚 行書初版



広重戸塚 隸書版

富塚さんと親しまれる鎮守の富塚八幡宮がある。自分の歳の数だけ鐘を叩くとご利益がある、というので正月には参拝客が列をなす。背後の山に富塚と呼ばれた円墳があり町名の由来と伝わる。同じ並びに古い町によく見られる八坂神社があり、夏祭りには屋台が並んで夕刻になると厚化粧した氏子の男たちがお札を町内に撒き歩く。

西国大名の江戸参府や日光例幣使は、大井川の増水による川留めがある東海道を敬遠して中山道を使うことも多かったようだが、オランダ商館長や琉球使節、朝鮮通信使の江戸上りは富士山の展望の良い東海道を使ったので国際ロードでもあった。

特に十年から二十年に一度来日する朝鮮通信使一行は沿道の町で歓迎されて交流を深め、行列が演ずるエキゾチックな歌舞は農村芸能に影響を残したといわれる。平素は助郷の労役で苦しめられた戸塚の村人も珍しい異国のカルチャーを楽しんだことだろう。

江戸方見附の先に大山詣への別れ道があり、大山道の道標がある追分不動尊前から厚木方面に向かうと長後街道に入るが、長後街道沿いにマッカーサー井戸がある。

1945年8月末、連合国軍最高司令官のマッカーサー元帥が厚木飛行場に降り立ち、横浜ニューグランドホテルに向った。その途中、長後街道わきの八百屋の前で小休止して井戸水を飲んだそう。井戸は今はビル敷地で見られないが案内板がある。目撃談ではジープに

座った元帥がドア代わりのチェーンに足を掛けて、運ばれた井戸水を旨そうに飲んだとか。横浜ニューグランドホテルで日本進駐の初日を迎えて3泊のあと、日比谷の第一生命ビルに置いたGHQ（連合国軍総司令部）に向かった。

マッカーサーを知る日本人は、終戦時に小学校一年だった私の世代が最後だろう。小川でザリガニ取りをして、赤い大きなのを見つけるとマッカーサーだ！と敬意を表した。

澤邊本陣跡に明治天皇が東京遷都の行幸途上に休憩した碑が立つ。東京湾に入ってきた黒船に開国を迫られて、新しい都に移る王政

復古の偉人は旧本陣で休憩。それから 90 年後、相模湾の空から舞い降りて、八百屋の井戸水で喉を潤した偉人は、現人神の共同幻想を打ち破った。偉人の休憩も色いろである。

偉人といえば、大磯から東京に通った吉田茂首相は間断なく通過する戸塚の大踏切の渋滞に業を煮やして立体バイパスを作らせた。マッカーサー元帥一行が大踏切を通過したときは鉄道を止めただろう。大踏切で運悪く足踏みを強いられた駅伝走者も完成後はワンマン道路を使っている。この名物踏切は先年歩行者用のデッキと自動車用のアンダーパスが完成。悪名高い開かずの大踏切は閉鎖式が開かれて完全に閉鎖された。近くの老舗和菓子屋のワンマン道最中が偉人の記憶を伝える。

江戸方見附に近いところに旧東海道があり、赤レンガの建物が残る。「鎌倉ハム」の倉庫だった。明治初期に英国人が当時鎌倉郡だった戸塚で日本最初のハムを作り、これを見習って日本人も作りはじめ「鎌倉ハム」として全国に広めた。戸塚は日本のハムの発祥地である。

江戸時代の宿場のイメージだけで自慢するものは何もないと思ったけれど、春を迎えた柏尾川の堤の桜並木は見事である。



旧鎌倉ハム倉庫



柏尾川堤の桜

ながながと 三万人の人影を
まじえて霞む 堤のさくら 与謝野鉄幹

咲く花の空に つづける幕打ちて
正しく走る 柏尾川かな 与謝野晶子



与謝野晶子
1992 年文化人切手

折ふしに いかずちのごと汽車過ぐる
柏尾堤の 山ざくら花 与謝野晶子



与謝野晶子
1999 年 20 世紀デザインシリーズ

切手からスイスを考える

切手による比較文化笑論

小川 義博

切手からその国を考えてみよう、オーストリー、ドイツ、フランス、スウェーデンの4ヶ国の切手を整理し笑論を記してきた。今回はその3ヶ国に接するスイスの切手を整理し、スイスを考察してみたい。

スイスは山地が70%占める九州よりやや広い国土に大阪府とほぼ同じ数の人々が暮らす国である。食物自給率は輸入飼料を計算に入れても56%とわが国の38%よりも高い。

切手の発行状況

整理した切手は1945年から2017年までに発行された984件、2081種類を対象とした。発行の経年変化をみると図1の様に徐々に1件当たりの発行数が増して行くが、わが国の様な乱発ではない。

切手の発行内容別に種類数をみると、特徴がみられる。まず、寄付金付切手が全体の32%と非常に多い。これは1909年に設立された慈善団体のために毎年発行されてきた寄付金付切手8種の約150件の存在である。また、周年記念切手が種類で約20%が、件数では約30%が発行されているのが、注意される。これを、過去に整理した4ヶ国と

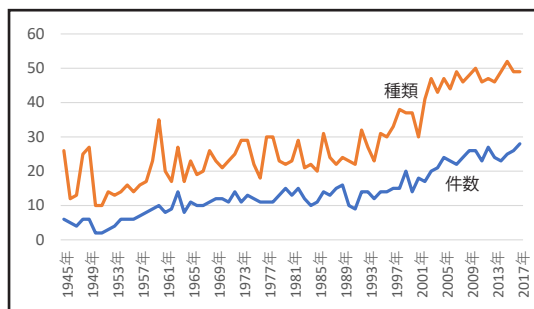


図1 切手発行の経年変化



PRO PATRIA 100 周年 PRO JUVENTUTE 児童福祉切手



PRO PATRIA 社会福祉切手

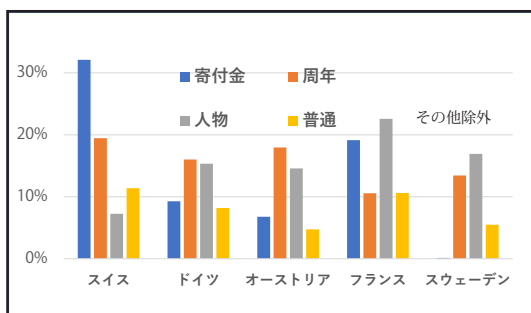


図2 切手発行種類割合の国別比較

比較したのが図2である。寄付金付切手の割合がフランスより高いのに注意された。

ここからは、独特のデザインと渋い凹版の普通切手と美しい寄付金付切手などをから感じ取れたことを感じたままに記してみたい。



普通切手

寄付金付切手

自治・地方自治の国

ライン、ドナウ川などの源流からして交通の要衝に位置することから多くの民族が定住しようとし、4つの言語が国語となって成立した国、自ずと自治と共存という意識がないと存続できなかったであろう。自治都市共同



1910, 20年代に発行された23州(カントン)のうちの10州の紋章を描いた切手

体、村落共同体から組織され主権を持った小国と捉えたほうが良いカントン(州)が結成した連邦(小国)が集まった集合体の国スイス。1291年3つのカントンが盟約者団を結成し、周辺カントンが徐々に加盟し現在の23カントン(26とも言われる)の連邦小国スイスになった(現在のスイスの正式名称はSchweizerische Eidgenossenschaft スイス盟約者団である)。しかも、カントンはそれぞれに市民主権を規定する憲法を持ち、連邦憲法に優先する内容が多いというように強い地方分権主義が根底にあるのでカントンの紋章を知ることが切手を見るうえで望まれる。

更に、古くBC15年ローマの侵攻前に存在した市町村共同体(ゲマインダー)の2000周年切手が自治の始まりを教えてくれる。弥生時代の吉野ケ里遺跡集落と同時期であるのが興味深い。またこれら市を結ぶ街道も同時期に開通していることも切手から知った。市



バゼル市 BC43年 ニコ市 BC42年 マティニ市 BC17年
ケル市 BC14年 ヌーシャテル市 BC14年 ビゼンツ市 BC14年
2000周年切手の市とその起年



ベルナーレ峠道 2000年 BC11年
モンブラン東を通るこの峠道は、古来アルプス越え交通路、セント・バーナード犬のゆかりの地



最初に盟約を結んだ3州の紋章切手。
ウーリ州、シュヴィーツ州、ウンターヴァルデン州



ベルン州、チューリヒ州、ゾーク州
連邦加盟100周年記念する社会福祉寄付金切手



ジュネーブ州



ヌーシャテル州

連邦加盟100周年記念切手

町村の周年切手は1989年ドレモン市700年切手を最後に発行されていない。以後は、市町村(ゲマインダー)でなく州(カントン)に関係する切手の発行になり自治の規模が大きい集合体が成立してきたことを示している。最初が1991年発行の1291年スイス同盟の700周年切手であり、現在の23州(カントン)で構成されるスイスの始まりの切手である。以後、最後のヌーシャテル州、ヴァレー州、ジュネーブ州の3加盟の切手等、州の連邦加入を記念した寄付金切手、連邦100、150周年など自治、連邦を主題にした切手が発行されている。2015年以降はこの種の切手の発行はなく、周年切手の内容が社会、文化面の内容になっている。

また、異なる切り口からも、地方分権、市民主権を重視した国であることを感じさせられる。それは人物切手に見られる。中央集権でなく、大統領の任期を1年というような

この影響か、19 世紀以降で政治家、行政官、軍人で切手になってる人物が非常に少ない。

スイス理解に不可欠な事項に言語がある。独、仏、伊、ロマンシュ語 4 ケ国語を憲法で国語としている。しかし、伊、ロマンシュ語については国が保護しなければならない状態にあること、移民の増加で 4 ケ国語以外の使用の増加、主言語の独語でも標準独語とかなり異なるスイス独語といわれる言わば方言の問題があり、意思疎通が困難な面から英語の使用が多くなり、第 5 国語になりつつあるという。(スイスにおける多言語・多文化主義 <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/repository/81008285.pdf>)



権力から分離・自由と独、仏、伊、ロマンシュ語 4 ケ国語で記された 18 州による国家 200 年、連邦憲法制定 150 年周年切手

周年切手から感じるスイス

発行割合が高い周年切手を周年数から整理し、他国と比較したのが図 3 である。前述したように紀元前を起年する周年切手が多い割にヨーロッパ 4 ケ国より 500 周年以上が少なく、100 周年までの発行が 7 割を占め、わが国と同じく、明治年代の社会活動、変化の大きさとその現在社会に占める役割の大きさがあことを考えさせる。

周年記念内容別に整理すると図 4 で国際

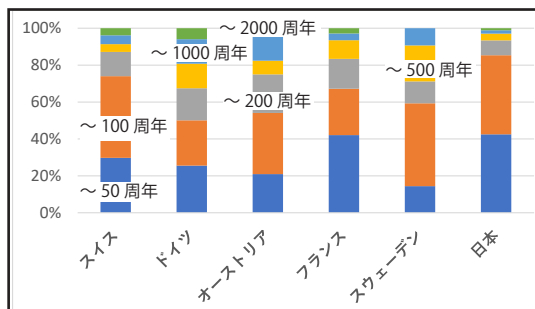


図 3 周年別割合の国別比較

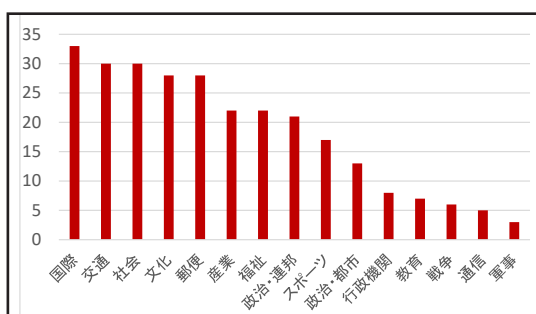


図 4 周年切手内容別発行件数

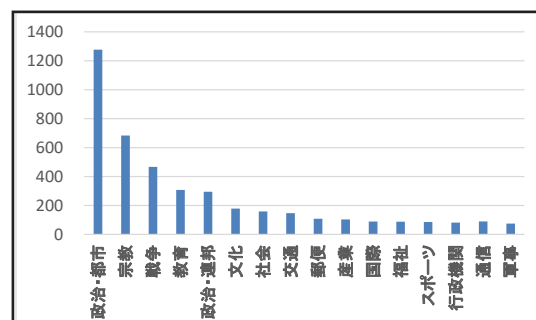


図 5 周年切手内容別平均年数

的事項でのスイスの位置を、年数で整理すると図 5 の様になり都市からカントンそして連邦の成立への事項が非常におおいこと注意された。

国際的事項の周年記念が多い

各国とも発行が多い内容であるが、会議、大会等の催事でなく、国際機関、組織自体の設立、創立に関する発行が非常に多いのはスイスに本部を置く国際機関が多いことを反映している。ILO、電気通信連合、国際鉄道管理機構、国際警察機構 IOC、WWF 等以外、UPU は 75, 100, 125 周年以外に記念碑設置 100 周年切手が発行されてもいる。また他国では発行を見送られる機関、団体の事項での発行があり、スイスの国際社会での立場を意図する努力の表れを感じる。



ILO
50 周年

難民高等弁務官事務所
50 周年

IOC
90 周年



国際鉄道管理機構
50 周年

電気通信連合 欧州原子核
100 周年 研究機構 50 周年



UPU 記念碑 100 周年
フランス人彫刻家サン・マルソー像と記念碑



UPU125 周年

宗教関連の周年切手が少ない

周年切手に限らず宗教関連の切手が隣国のドイツ、特にオーストリアより非常に少なく 3 種にすぎない。他には普通切手に教会建物、美術工芸品が 10 種程度にみられる。100 種以上の宗教関連切手を発行するオーストリア、ドイツと異なり、「政教分離原則」(ライシテ)で宗教建造物以外少ないフランスと同じであったが、政教分離ではないスイス、カソリック、プロテスタント以外の宗派と宗教が多岐なこと、さらに強い主権をもったカントン相互の力が影響していることも考えられる。また、60 種程度発行されてるクリスマス切手に強い宗教色を感じさせる物を探しても 2 種程度しか見だせない点もある。



聖ペドロ聖堂修復 50 周年
サモリス修道院建立 1500 周年
バルミスタール型天井 500 周年



クリスマス切手に宗教を感じさせる 2 種の切手
受胎告知 東方の三賢人を描く

宗教を感じさせない多くのクリスマス切手のうち 2 種

交通機関に関する周年切手が多い

九州と同面積に鉄道路線距離は 5,380km で路線密度が九州の約 2 倍となっている国だけに地方鉄道路線の周年を中心に多くの交通インフラにかかわる切手が多く発行されている。赤字路線切り捨てのわが国とちがい、オーストリアと同じく鉄道路線切り捨てによる沿線地域社会の衰退を防ぐことと観光事業の振興を意図し、地方鉄道路線維持への強い地方自治力をもつカントンの努力を国が側面から援助していることを示しているかを感じる。

また、大戦で戦費を使用しなかったことが道路網の充実を促し、トンネルなどを完成させ、国民と観光客の重要な足 POSTBUS の堅実な運航を可能にしていることが見える。さらに航空事業に加え、内陸国であり海に接していないのに海運事業の切手も目にでき交通網をいかに重視しているか、切手から判断できる。



ローレン鉄道 125 周年
ベルン鉄道 100 周年
リッチェル鉄道 100 周年
アプト式鉄道 125 周年



ゴッタルド鉄道 100 周年
ベルン鉄道 100 周年
リッチェル鉄道 100 周年
山岳ケーブルカー 50 周年



シンプロントンネル 50 周年
グラー・サベル・カールトンネル開通 100 周年
ポストバス 100 周年



スイス商船 75 周年
スイス航空 50 周年
スイス航空 25 周年
スイス航空 50 周年

郵便関係切手が数多く、内容も幅広い

多くの国と同じく郵便・切手に関する切手発行が件数で16%、種類で12%が郵便関係の切手が占め、UPUのお膝元のこともあるか、他国に比べ多く発行されている。内容としては切手の日、切手展以外に郵便輸送・作業を描いたもの、郵便の種類、カントン別配達夫姿、1998年民営化したポストバスの歴史等スイスの郵便事業を網羅して紹介されている。また、注意されたのが切手趣味に関する周年切手が発行されてることだ。1890年には切手趣味団体ができ、20年後に切手商団体ができたことを示す切手は、使用済切手での福祉施設援助100周年の1988年発行ドイツ切手を想起し、ヨーロッパの切手趣味の歴史と幅の広さを考える。更に、官営切手



湖上郵便更重搬 今の郵便配達 20C 初頭配達 鉄道内区分作業
1987年発行郵便輸送シリーズ12種の内の4種



郵便小切手用 自動車郵便局 軍郵便輸送 航空郵便
ポスト設置 50周年 100周年 50周年



馬車で始まり政府管轄で郵便物・乗客輸送と住民安否確認に活躍するポストバス。1998年スイス通信と分割民営



カントン(州)主権の強さを感じる配達夫姿 府切手印刷所
バーゼル ヨウツ、ウ、ツ州の配達夫 閉所記念切手



切手趣味団体 切手商協会
100、125周年 100周年
使用済切手で福祉施設援助100周年
ドイツ1988年発行

ヨーロッパの切手趣味の歴史・幅感させる切手

印刷所閉鎖記念切手の発行は他の国では見られない切手であろう。

永世中立国へのステップがわかる

スイスといえば永世中立の平和国家というイメージだが、切手をみると幾多の戦を経験を乗り越えて今の国家ができ、その維持に多大の努力を払っていることが判る。まず、伝説のウィリアムテルがハプスブルグ家への反



ウィリアムテルと
リンゴを手にする息子

旗の行動であったように、周囲の強国の圧力に抗する戦の数々が切手になっている。

1380年代、盟約を結んだウーリ、シュヴィーツ、ウンターヴァルデン3つのカントンがハプスブルグ家支配と戦い勝利し、更に加わったカントン連邦軍がネーフェルス戦、モルガルテンの戦等で勝利しオーストリアの支配から脱した。スイスが拡張政策を放棄し、兵士の強さが名を馳せ、血の輸出といわれる傭兵輸出に専念するようになった。しかしスペイン内乱への傭兵派遣を機に1927年に憲法で禁止となったが、現在もバチカン市国には傭兵を認めている。また、ジュネーブでのエスカラード戦い、イタリアに駐留したロシア軍の撤退を促すアルプス越えを認めたりして永世中立国への立場を固めたようだ。



独立戦争 600周年 ネーフェルス戦 600周年 モルガルテンの戦 500周年



バチカン傭兵 500周年 エスカラード戦 400周年 ロシア軍アルプス越え 200周年

勢力均衡するヨーロッパ列強の緩衝的な地理的条件もあり主権維持の努力から 1814 年ウィーン会議で永世中立を承認されたが、その立場を守るのは武装にも努めていることが切手からもわかる。スイスはスイス自体が軍隊だといわれるように徴兵制をとり 44 歳まで一定期間の訓練が課せられ、冷戦の最中には核シェルターの設置が義務付けられた歴史を持つ。現在も兵役の無いときは自宅に銃と一定の弾薬を保管する社会は日常抱くスイスのイメージとはかなり異なる。(小型武器の民間人所有率、スイスは米国、イエメン、フィンランドについて世界 4 位)

また、軍は国土の関係で自然災害に対する役割を持ち、医療機関組織との連携が求められている。



国境警備隊



非職業軍人団
100 周年



民間防衛
25 周年



女性軍補助隊
25 周年



スイス空軍
100 周年



防災防止事業
50 周年

職業、職業団体、産業を重視

山岳地帯の農業国であったスイス、貧しさからの脱却への努力が切手に見られる。フランスから亡命してきた時計職人が種と成り、立地に恵まれた白い石灰・水力発電も加わり、精密工業、金属工業、医薬化学工業へと発展してきている。現在では輸出品の主なものは化学・医薬品、精密機器であり、農業



化学工業協会
100 周年



金属加工労働者連合
100 周年



精密機械製造
150 周年



手工業会
25 周年

精密機械製造業組合
150 周年

電子工学協会
100 周年

国から脱却している。

一方、他の国と比較すると、身近な職業、人の働く姿を描く切手が多く発行されており、職業集団としても規模が小さい組合組織の周年切手が発行されているのが目立つ。こ



酪農協会
100 周年



パン製造職人組合
100 周年



肉や連盟
100 周年



美容師協会
100 周年



チョコ製造組合
100 周年



金属加工・時計
100 周年

のような切手のうち他の国に無い切手が注意された。耕作地の風景をデザインした農民連合 100 周年の切手である。スイスでは関税でなく、国策として環境保護、家並み保存、自然災害防止、国境監視を加えた直接金銭支給で農業保護していることを象徴しているよう



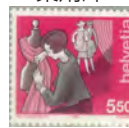
農民連合
100 周年



薬剤師



大工



服飾人

1989 年から 1994 年



漁師



コック

普通切手職業人シリーズ

だ。スイスは 4% の農業人口で食糧自給率 56% を確保し、観光業の基礎を支えていることも考えさせる。更に就労場面を描いた普通切手もなかなか見られない切手ではないだろうか。

生物切手の発行に特徴

スイス切手の整理を始めて興味をひかれたのは美しい花が戦後 1940 年代の切手に咲き誇っていることである。過去、整理してきた 4 ケ国（オーストリア、ドイツ、フランス、



1946 年発行



1950 年発行



1965 年発行

スウェーデン) の花、昆虫、鳥、動物等の生物が切手に見られた時期を整理したのが図 6 である。他の国が環境、自然保護への関心の高まりとともに 1960、70 年代に発行を増やしているがスイスはそれ以前の 1940、50 年代に発行が多いことが明らかである。これら切手が児童福祉目的の寄付



1968 年発行



1973 年発行

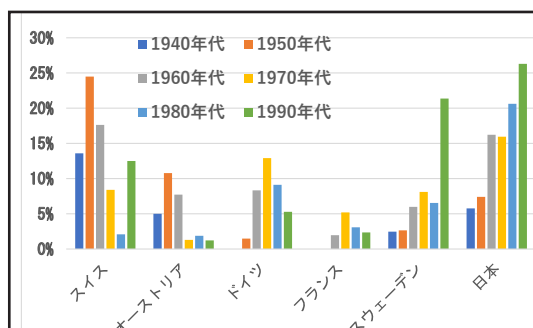


図 6 年代別 生物切手の国別発行割合

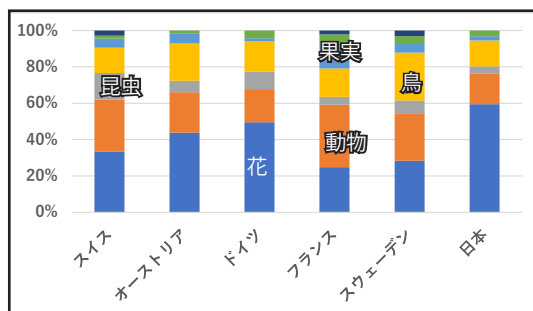


図 7 生物切手の国別割合



1946 年発行



1960 年発行



1964 年発行



1980 年発行

社会福祉寄付金付切手

金付切手であり、社会福祉目的切手と明確に図柄が異なることから自然保護、動物保護を意味するより、切手自体への注目度を意図したものであろうと考える。逆に、1961 年スイス・ニヨンに本部を置く WWF (世界自然保護基金) が設立されて自然保護への関心が増してきた時期から発行数が減じてきて発行目的を動物保護と明確にした切手の発行に移行した感じを受ける。



1959 年発行



1976 年発行



2014 年発行

動物保護 野生動物保護

切手に描かれた生物の割合を国別に見たのが図 7 である、各国それぞれの割合がみられるがスイスは他国に比較してバランスの取れた発行であり、中でも昆虫の割合が多いことが特徴といえるであろう。しかし、その大半が 1950 年代の児童福祉寄付金付切手であり、それ以外は 2002 年に発行された普通切手の 4 種のみであり、他の生物とは異なる発行経緯を持っている。また、各国とも発行の少ない魚類の切手が養魚連盟 100 周年切手 1 種のみであり生物自体を対象としての発行は見られない。これは内陸国としてのためであらうか、オーストリアも極めて少ない。



1950 年代の寄付金付切手



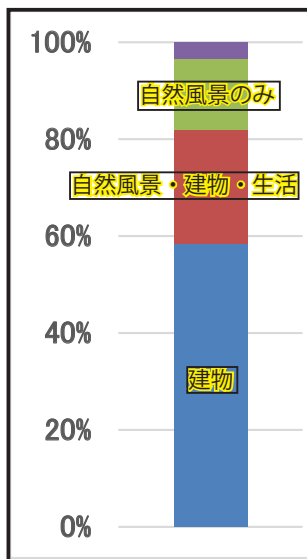
2002 年発行普通切手



1983 年発行養魚組合
100 周年切手

風景切手の内容

スイスの風景切手をその対象割合を整理したのが図9である。過去整理した国と同様、建物の切手が最も多く、加えて普通切手に建物切手が一定程度を占めているが、スイスは



自然風景をバックに生活、建物を配した切手、自然風景だけの切手が我国のように多くはないが、ヨーロッパの国としては非常に多く発行され、特に、隣国ドイツ、オーストリアとは全く異なる。自然景観に恵まれ名峰も多く、観光を重視する国であるが対象とする景観、名所を重複して発行することが少ない。例えば、マッターホルンは4種程度に見られるだけであり、我国で富士山が100種以上に眺められることは名峰に対する思いが異なることを考える。このことを23のカントンからなる地域主義に基づくバランスが不可欠な連邦国家であることを考えるのは考えすぎか。

自然風景と建物、人の生活、余暇、鉄道等を自由に組み合わせ、観光地としての魅力をより強く魅力的に訴える切手が多く、切手を上手に利用していると感じる。また、凹版普



ヨーロッパでは少ない 建物等人工物が入っていない自然景観だけの切手



自然と人、活動、鉄道など組合せ観光的魅力を向上



学生時代、スイスへの理解を刺激してくれた切手



農家 製粉所(水車) 駅舎

通切手でスイスの国土、産業等を独自のデザインで描いたシリーズ切手の存在はこの観点で思い出される。

建物切手もお決まりの城、教会等、歴史的建造物の他に農家、駅舎などが対象で他の国に比べ対象が幅広く、国際機関の事務局が多く置かれているためであろう国際機関に関連した建物も切手になっている。

最後に

国籍をも与える権限も持つカントンという小国の集合体としての小さな国スイス。切手全体に白十字の国章、そしてカントン、都市の紋章が多く見られ、発行目的に地方主義、あらゆる領域で自治を重視すること、連邦への努力が切手を整理し感じ取れた。

笑論を終わるにあたり

ヨーロッパの5ヶ国の切手からその国を理解しようと試みた。宗教色の濃淡、風景・景観の捉えかた、人物・生物への思いを、各国の切手のDATABASEを作成し利用することで切手をながめるだけではつかみにくいものを感じ取ることができた。今後も、1枚の切手情報を集合、整理、分析できる収集環境を継続改良し、切手を所有するだけに満足することなき趣味活動に努めたい。

TOKYO2020 セーリング会場 (江ノ島) の記念カード

池澤 克就

2021年6月23日、東京オリンピック2020を記念した25面シート2種、パラリンピック記念25面シート1種の合計75種類の切手が発売されました。

今回、私の地元である藤沢の江ノ島がセーリング会場となることから、江ノ島局の風景印を使った記念品を作ることになりました。

江ノ島の栈橋には、TOKYO2020のロゴ入りのヨット型のモニュメントが設置されていますのでそれを入れた写真を撮影し、セブンイレブンではがきサイズにネットプリントしたものを台紙として使いました。

撮影にあたっては、押印スペースを考慮して空を広めにとりました。撮影日が曇り空だったことも押印にとっては幸いでした。切手を切り離そうとすると、左側に偶然、TOKYO2020のロゴが入っていることに気づ

きました。25分の1の確率です。

これは切り離してしまうのはもったいないと、そのまま残して利用しました。江ノ島局の風景印にはヨットが描かれているのでオリンピック切手ともびったり合います。

すべての競技が網羅的にデザインされている今回の切手では、競技の開催地でこのような地元ならではの記念品が作れるという楽しみは広がります。

しかし、今回の切手はバラでは販売してくれず、同一競技で複数枚のカバーを作るには2,100円のシートを買い足さなければならず、金銭的にも敷居が高くなります。できれば、豪華25面シートとは別に競技ごとのシートがあればいいなと思いましたが、今回のオリンピック縮小ムードの中では難しかったでしょうね。



第53回 稲門フィラテリー常設切手展 「東京2020オリンピック・パラリンピック」

稲門フィラテリー常設展は
今回で第53回になります。

前回（第52回）の展示「1964年（昭和39年）の東京オリンピック」では、当時発行された記念切手や記念乗車券（国鉄や都電・都バス）やなつかしい秘蔵写真などを展示しました。今回の展示はいよいよ始まった「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」をテーマにしました。

日本郵便では今年6月23日に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技・種目73種類をデザインした切手等を発行しました。本展示ではこれらの切手を主体にしました。すなわち、これら73種類をデザインした切手を大きく拡大し見やすくし、各競技のデザインをじっくり鑑賞いただくということにしました。

記 磯野昭彦

折角のオリンピック切手が残念ながら使用者を無視した発行となった。目打切手の記念切手として初めてシート単位の販売になってしまい、2100円支払わないと封書に貼って使う切手を1枚も手にできない記念切手になってしまった。

編集子



郵趣活動賞受賞 青柳 次男

胸に赤い花を付けてもらい、名札を下げて会場に入った。席に案内されるテーブルに私の名前。なんと舞台直前の一番前。こんな晴れがましい席に座るなんて。お尻がムズムズしだした。12時に式が始まる。「全国郵趣大会2021 in 横浜 併設関東郵趣大会」配布された案内を見ると、稲門フィラテリーの名前がある。顕著な活動をした会への賞とのこと。会が始まった。先ず、郵趣協会新理事長の挨拶。これからの郵趣協会について、熱い宣言だ。そして表彰が始まる。我が稲門フィラテリーの順番は、真ん中あたり。表彰状を貰った経験皆無の私は、表彰状を

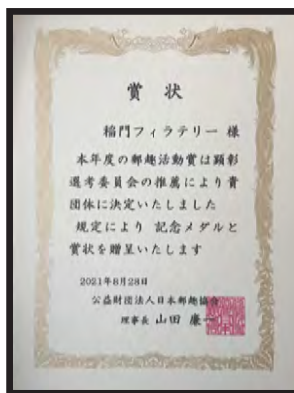


郵趣協会山田理事長から賞を受ける青柳会長(右)

編集後記

コロナ禍の中、オリンピックが行われた。1964年東京大会では切手ブームの中で特殊切手が発行され、郵便局に並んで手に入れた。今回は懐具合を気にしないといけない。どちらも苦労を強いられる切手である。ふと、母校の記念会堂がオリンピック・フェンシング競技の会場であったことを思い出した。ずいぶん遠い昔のことになった。

受取るのに、先ず右手を出すのか左手なのか、一瞬、迷った。表彰状とメダルの授与、と言われたが、メダルはなかった。現在、「稲門フィラテリー」の名を刻字中で、でき次第、送ってくれとのこと。大勢の郵趣協会員の中で、郵趣協会の会員でもない我が会が表彰の榮に浴するのは、当会の会員諸兄姉の常日頃の郵趣協会での活動によるものと感謝するばかりである。日本郵便(株)の切手デザイナーの講演を欠席して、同じ会場の1階で行われているPhila Nippon '21に足を向けた。途中、そのコミッショナーをしている稲葉良一さんに会って立ち話をした。彼も稲門フィラテリーの会員だ。今回の



Phila Nippon '21に出品し、LG大金賞を受賞された。緊急事態宣言発出中の横浜の混雑を横目に、帰途についた。

本会報バックナンバーカラー版を下記でご覧いただけます。
<http://www.talcen.com/paper.html>

発行日：2021年6月1日
発行・著作：稲門フィラテリー
発行人：青柳次男
〒150-0002
渋谷区渋谷 1-11-3 正栄ビル 4階
(株) 英国海外郵趣代理部内
稲門フィラテリー事務局
編集担当：池澤克就 小川義博

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。